

【件 名】	街路築造工事のうちこ線人道橋上部工事（4二一補26豊町）その2	【事務所名】	第二建設事務所	
【工事場所】	東京都品川区二葉一丁目地内から同区豊町二丁目地内まで 補助第26号線	【受注者名】	株式会社北都鉄工	
【工 期】	令和4年10月24日から令和7年12月2日まで	【主たる技術者名】	監理技術者 本野 貴史	

【工事概要】

構造形式：中路式鋼板桁橋

橋長（通路・斜路部）105.269m、階段 2箇所

製作重量 101.599 t、架設工 90.429 t

現場溶接工、高欄設置工

【表彰理由】（※発注者側評価）

・本工事箇所は、JR在来線、新幹線など鉄道施設や民家が近接する狭小な作業ヤード内での架設工事であったが、現場状況を的確に反映した綿密な架設計画を立案し、安全に無事故で完了させた。

・迂回路の確保が困難な現道上から架設する計画であったが、ヤード内の地組や仮設材の配置を工夫する等、作業帯を見直し、ヤード内からの架設に変更することで、現道の通行規制や夜間工事の日数を削減するとともに、速やかに次工事へ現場を引渡すなど、事業進捗に貢献した。

・構造が複雑かつ、各部材が比較的細小であるため、自主的に模型及びCIMデータを作成のうえ、部材の干渉チェックを実施し、作業員が構造を正確に把握できるようにしたことで、品質、出来栄えともに良好であった。



施工前



施工後

【受注者の声】

◇ 苦労した点

民家と近接した狭小な施工ヤードでの桁架設であったこと、また、夜間施工時での騒音及び夜間照明の光害などの対策に苦労しましたが、計画段階から意識して対策を行ったことで、苦情等なく工事を完了させることが出来ました。

◇ 特に工夫した点

JR在来線、新幹線に近接した現場であったため、桁架設時に近接施工範囲内へのクレーンブームの侵入を回避するため、ブーム先端に位置情報が取得可能な装置を取付け、モニターで視覚的に確認する方法により、近接施工に留意しました。

◇ 現場で得られたやりがいや達成感

現状、通勤・通学時間帯に長時間交通を遮断する踏切を通行している歩行者・自転車の今後の円滑かつ安全な通行に役立つこ線人道橋整備の一端を担うことができたことです。

◇ 建設業の将来を担う若手技術者や学生に対し伝えたいこと

橋梁は、地域や人と人をつなぐ生活に欠かせない構造物であるため、自分が仕事に携わった構造物が形として残り、確かな達成と社会貢献を実感できる、やりがいの大きな仕事です。



モニターによるクレーンブーム先端位置の監視状況